

令和2年度 第4回かすみがうら市地域公共交通会議 会議録

1 日 時 令和2年10月20日（火）10時00分から11時00分

2 場 所 かすみがうら市役所 千代田庁舎2階 第1会議室

3 次 第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

議案第6号 かすみがうら市地域公共交通計画（仮称）素案について

(4) その他

(5) 閉会

4 出席者

団体名	役職名	氏名	代理
かすみがうら市	市長(会長)	坪井 透	
関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	鈴木 裕一	
茨城県政策企画部交通局交通政策課	課長	中村 浩	代理：酒井 雄一
茨城県土浦土木事務所	道路整備第二課長	平間 貴司	代理：坂野 彰
茨城県土浦警察署	交通課長	池田 和美	
関鉄グリーンバス（株）	代表取締役	長津 博樹	
関鉄観光バス（株）	常務取締役	小林 英樹	代理：大塚 英明
(有) 美並タクシー	代表取締役	臼井 忠	代理：臼井 幸子
霞ヶ浦交通（株）	代表取締役	島田 豊	
(有) 鶴観光バス	代表取締役	鶴町 乙比古	
(一社) 茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透	
関東鉄道（株）労働組合	書記長	中村 正之	
かすみがうら市議会	議長	加固 豊治	
かすみがうら市区長会	会長	西尾 晴男	
かすみがうら市PTA連絡協議会	会長	小勝 博司	
かすみがうら市商工会	会長	真藤 実男	
かすみがうら市地域女性団体連絡会	会長	斉藤 二三子	
土浦市	都市産業部長	船沢 一郎	
行方市	企画部長	高須 敏美	代理：谷川 達郎
かすみがうら市	市長公室長	小松塚 隆雄	
かすみがうら市	保健福祉部長	君山 悟	
かすみがうら市	都市産業部長	鈴木 芳明	
事務局	政策経営課長	槌田 浩幸	
	課長補佐	飯島 裕市	
	係長	貝塚 俊一	
	主幹	熊谷 洋輔	
	主事	佐々木 望	
受託事業者	株式会社 アルメックVPI		

5 欠席者

団体名	役職名	氏名
関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	牧瀬 成博
(有) 千代田タクシー	代表取締役	染谷 雄一郎
(有) まゆ観光	代表取締役	大橋 孝一
(有) 神立観光	代表取締役	斉藤 日出夫
(一社) 茨城県バス協会	専務理事	川上 敬一
かすみがうら市老人クラブ連合会	会長	藤井 藤吉
筑波大学大学院システム情報工学研究科	教授	谷口 綾子
かすみがうら市	建設部長	石塚 洋二
かすみがうら市	教育部長	田崎 守一

6 議事内容

議案第 6 号 かすみがうら市地域公共交通計画（仮称）素案について

【議長】 はじめに、本日の交通会議につきまして3名の方より傍聴の申し出がございますので、これを許可することとしたいと思います。よろしいでしょうか
(異議なし)

【議長】 それでは傍聴者の入室を認めます。
(傍聴者入室)

【議長】 議案第6号「令和2年度 かすみがうら市地域公共交通計画（仮称）素案について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 —資料に基づき説明—

【議長】 以上で、説明が終わりました。
ただいまの件につきまして、ご質問等はございませんか。

【区長会】 デマンド型乗合タクシーについて、利用者から無くなると困るという声も出ました。そのような中で、今年度暫定的に継続して運行していますが、来年度以降も継続して運行するのでしょうか。今の説明内容では、来年度以降も継続して運行すると理解したのですが、よろしいでしょうか。

【事務局】 デマンド型乗合タクシーについては、市民アンケートや、市民団体の委員から意見をいただいて、デマンド型乗合タクシーの要望が高いことは認識しております。一方で、収支率の問題があり、計画でも記載している持続可能な公共交通を提供するためには収支率が問われてきます。デマンド型乗合タクシーの収支率は7.8%であり、目標値の20%を達成できる公共交通になり得るか検証

する必要があります。

デマンド型乗合タクシーをはじめ、その他の計画内容についても、本日皆様からご意見を頂戴して、最終的には 11 月に開催予定のパブリックコメント前の最後の会議で素案としてまとめてお示しすることを考えております。

【茨城県交通政策課】 基本方針として「市内のどこからでも公共交通で移動できる公共交通網」について、立地適正化計画の作成状況と合わせて検討していく必要があると思います。立地適正化計画では居住誘導区域を設定するのかと思います。居住誘導区域外に住む人も救うという意味でしょうか。

【事務局】 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を作成中です。居住誘導区域と地域拠点を設定し、それらを結ぶネットワークも大切なものと考えております。

立地適正化計画を作成し、居住誘導区域を設定しても、すぐに誘導することは現実的に難しいです。公共交通を無くすことはできないと考えているので、市内のどこからでも公共交通で移動できる公共交通網が必要と考えています。

【関鉄グリーンバス】 新型コロナウイルス感染症の影響により、路線バスの利用者は非常に減少しています。通学の学生の利用は少し戻ってきていますが、元には戻っていません。

乗務員の検温、マスクの着用、ビニールカーテンの設置、消毒等の感染対策をしています。乗客の皆様にも車内での咳エチケット、窓開けによる換気等の感染予防対策にご協力をいただいています。それでも利用者数はまだ戻っていません。

計画の中で路線バスについて現状を維持していくとありますが、民間事業のため、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数減少の今後の戻り具合によっては便数の維持は困難となります。その際、市民の皆様のご理解をいただきながらご支援をいただく形になるのか、ある程度減便し企業努力の中で対応するのか、今後の状況次第とはなりますが協議していきたいです。

計画スケジュールの、①霞ヶ浦広域バスの維持・拡充のニーズ調査と運行ダイヤの検討は隔年の実施となっておりますが、状況は変化していくので通年とした方が良いと思います。

【事務局】 新型コロナウイルス感染症の影響が利用者数にも表れました。

民間の路線バスの維持を公共交通施策としたのは、今後便数や路線を増やすのではなく、現状の路線を維持することを目標と考えています。具体的には今後の乗車数を見ながら協議していくものと考えております。

霞ヶ浦広域バスの計画スケジュールはご指摘のとおり、通年の表記に変更します。

【茨城県交通政策課】 基本方針に「鉄道・バス・デマンド交通の役割分担を明確にし」と記載がありますが、役割分担の明確化を計画に盛り込む必要があると思います。デマンド交通とバスの競合について、具体的にどうするのか記載できると良いと思います。

【事務局】 それぞれの特性を利用した補完しあう公共交通体系の構築を考えております。

【議長】 それでは、ただいま事務局から説明がありましたとおり、進めさせていただくということでしょうか。

(異議なし)

【議長】 それでは、そのようにさせていただきます。

次に、その他でございますが、事務局から何か報告はありますか。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 今回の会議は11月中旬頃を予定しております。かすみがうら市地域公共交通計画（仮称）素案の最終確認をしていただく予定です。12月には市民の意見公募を実施し、2月に素案を計画として決定する予定です。

会議日程につきましては、詳細が決まり次第各委員に追ってご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。

【議長】 ありがとうございます。そのほか、委員の皆様から何かございますか。

(ほか質疑なし)

【議長】 それでは、これで令和2年度第4回かすみがうら市地域公共交通会議を閉会させていただきます。委員の皆様におかれましては、慎重なるご審議を賜り、誠にありがとうございました。